

What?

Why?



所長 山本の

ワイズリレーインタビュー

第12回 陸中海産の代表 堀内さんに聞きました!

破天荒な初代、寡黙な2代目、対面販売でファンを拡げる3代目。

Q 業務内容を教えてください。

堀内 主に岩手県産のワカメを乾燥させて、カットして袋詰めして、全国に発送している乾物屋です。

Q 創業のきっかけは?

堀内 宮古出身の祖父が1980年代のはじめ、花巻駅の構内でブルーシートを敷いて出張帰りのサラリーマンや旅行者に新巻鮭を売っていたそうです。ただ、新巻鮭だと通年販売ができなかったため、夏場の収入確保で乾燥カットワカメを作るようになったと聞いています。祖父は破天荒で、鮭の養殖を兄と一緒に始めて人口孵化に成功し、新聞に載ったこともあったそうです。

Q どんなお客さんが多いですか?

堀内 祖父の代からのお客さんがメインで、県外がほとんどです。9割は関東ですね。DMをいつも送らせていただいているのは、1,100人弱です。最初は出張に来たサラリーマンがお土産で買っていかれて、それから人伝で広がって、電話で「送ってくれないかしら?」と注文を受けるようになったそうです。創業から30年以上経った今も宣伝はほとんどしていませんが、お客様の輪は広がっていますね。

Q 看板商品は?

堀内 祖父の代からの「ワンタッチわかめ」(30g 税込 500円)です。水で戻さないで使えて、味噌汁だったり、サラダやスープだったり入れると、20倍に膨らむんですよ。祖父が描いたワカメちゃんのイラストが目印の商品です。

Q 「こなわかめ」という商品は?

堀内 「ワンタッチわかめ」を細かく刻んだものです。常連のお客さんから「市販のふりかけがしょっぱいので、おたくのワカメをハサミで刻んで使っている」という声を聞いて、粉末以上粗挽き未満の大きさにカットして作った商品です。おにぎり、たまご焼き、そうめん、ドレッシング、ビールのつまみにもぴったりです。名刺代わりにもなるようにと、友人のデザイナーに作ってもらったパッケージは、キャンプや登山で持っていけるちょうどいい大きさなんです。

Q 原材料は何を使っていますか?

堀内さんの胸元にはロゴやパッケージのイラストで作った可愛いバッジが。イベント出店時に登場するガチャガチャなどでGETできます!



堀内 当初は宮古の重茂産でしたが、年によって海流の微妙な変化や県南と県北で種も違うので、震災後から大船渡の綾里産と釜石の唐丹産のワカメを使用しています。

Q 岩手県産にこだわっているんですね。

堀内 仕入れ値が高い時に片っ端から漁協に電話したことがありまして。たまたま釜石の漁協の担当者が花巻東の野球部出身で、釜石はその方とご縁で仕入れられるようになりました。

Q 産地以外のこだわりは?

堀内 一般的にはワカメを扱いやすいサイズに切ってから乾燥させるのですが、うちでは手間がかかるのを承知でワカメを長いまま丸ごとを干して、旨みを閉じ込めてから切っています。最後の仕上げは、広がって食べやすいサイズに手作業で切っています。それと、中には干すと色が変わるワカメがあるので、それを一つ一つ取り除いています。

Q どこで買えますか?

堀内 乾燥ワカメは光に弱く、長く光に当たると変色してしまうので、実は店頭売りが難しいんです。ですので、創業から店舗を構えず、個人のお客さんから直接ご注文を承ってから加工してきました。作り置きはしないで、加工したてをお届けしていますが、こちらのサポートが効く範囲で一部の産直、飲食店、美容院、雑

Monthly
Person



陸中海産
代表

堀内 雄輔（ほりうち・ゆうすけ）

高校卒業後、販売や販促の勉強をするために専門学校に進学。その後、岩手で営業や販売、製造の仕事を経て、2017年に3代目に就任。受注生産で作りたいで安心安全な乾燥ワカメを全国の食卓に届けている。8歳の息子さんがいる42歳。



3代目の雄輔さんと妻の由樹子さん。お二人ならではの感性で、新たな販路を開拓しています。



道具屋 代表 長沼 岳彦 さんからのご紹介



貨屋さんなどに置かせてもらってます。

Q 3代目になったきっかけは？

堀内 震災が大きかったです。送料をかけてまでうちの商品を買ってくれる人はもともとこだわりが強いので、風評被害の影響で3分の1の注文がストップしたんです。中央のチェーン店にも卸していましたが、「もう扱えない」と言われて、売り方を色々考えて、父に「こうだったらどう？」と提案していたら「お前がやってみろ」と言われたんです。それから、若い世代や地元の人にもうちの商品を知ってもらえたらと思って、HP を立ち上げて、新しい商品を開発したり、パッケージのバリエーションを増やしたり、イベントに出店するようになりました。そして昨年に代替わりしました。まだこそばゆい感じがしていますが。

Q イベントとは？

堀内 県内外の色々なイベントに参加させてもらってます。特に盛岡の「青空商店」、北上の「町分マルシェ」は、昨年、声をかけていただいて、前々から憧れていたイベントに参加できて嬉しかったですね。岩手での認知度がまだ低いので、地元のお客さんに商品を紹介できるイベントは自分たちにとって貴重な場です。

Q 社名の由来は？

堀内 祖父は言葉遊びが好きだったので「陸中海岸」とかけて命名したんだと思います。昨年は念願だったロゴマークが完成しました。3つの山で「三陸」、曲線は「波」を表しています。白いところに注目すると、鳥と鳥が向き合って餌を口渡ししているところが浮かび上がるのですが、これは人から人へ口伝えて広まった陸中海産の歴史も表しています。とっても気に入って、作ってくれた友人のデザイナーに感謝しています。

Q この仕事の魅力を教えてください。

堀内 祖父の代から電話で注文を受けた時によく世間話をしていた、顔が見えないながらもお客さんとのコミュニケーションを大切にしていたのですが、昨年イベントに出店するようになってから、お客さんと直接顔を合わせて販売する魅力を実感しています。

Q 自分なりの勉強方法や情報収集はありますか。

堀内 乾燥ワカメはどうしても食べ方が決まってくるので、妻に任せてレシピを考えてもらっています。私は、イベントに出た時にどういう感じで陳列すればお客さんが手に取ってくれるかなど、見せ方を勉強するようにしています。やってみないと分からないので、その場で何でも試すようにしていますね。

Q 事業主としてのこれからの目標は？

堀内 イベントに出店するようになってから、店舗があると求めてくれる方が増えてきたので、いつか小さくてもいいので販売できるスペースを作りたいですね。今は事前予約で商品をご用意する形なので、お客さんが来た時に和めるスペースもできたらいいですね。

Q 個人としての目標は？

堀内 継続は力なりという言葉が好きなので、太くするところは太くして力をつけつつ、細く長く事業を続けていきたいです。
由樹子さん 去年からいろんなご縁をいただいて岩手での輪が広がったので、もっと地元で「美味しい」と言ってくださる人が増えるようにしていきたいですね。

Q 仕事をする上で大切にしていることは？

堀内 楽しいことを忘れないことです。干して、乾かして、カットするという工程なので、どうしてもルーティーン化してしまうんです。だから話題を見つけて、楽しく仕事をするようにしています。イベント出店も同じように全力で楽しんでいます。

Q 最後に好きなタイプの芸能人を教えてください！

堀内 石田ゆり子さんです。柔らかな雰囲気が好きですね。

◎ 本日はお忙しいところありがとうございました。



昨年は、念願だったイベントへの出店が実現。



陸中海産



花巻市下似内 11-39-6 ☎ 0198-24-5868

<http://rikuchukaisan.com>